

メソポタミア年表

年代	できごと
前3500年頃	メソポタミア南部にシュメール人の都市国家が成立
前24世紀頃	アッカド人がシュメールを征服
前18世紀頃	古バビロニア王国(バビロン第1王朝)のハンムラビ王、全メソポタミアを統一
前17世紀半ば頃	アナトリア高原にヒッタイトが成立
前1600年頃	ヒッタイト王国が古バビロニア王国を征服

◎メソポタミア

メソポタミア…ティグリス川・ユーフラテス川流域を中心とした地方(2つの川のあいだという意味)

「肥沃な三日月地帯」を形成

○シュメール人の都市国家

王を最高の神官とする神権政治

…神の権威をかりて行われる政治

ウル・ウルク・ラガシュなどが代表的都市

アッカド人に征服される

○古バビロニア王国(バビロン第1王朝)

ハンムラビ王のときに全メソポタミアを統一

ハンムラビ法典を發布

…「目には目を、歯には歯を」の同害報復の原則に基づく

ハンムラビ法典の特徴

- ①同害報復の原則
- ②身分差のある刑罰

○ヒッタイト人の王国

アナトリアに建国し、メソポタミアに侵入

馬にひかせた戦車、初めて鉄製の武器を使用し、強国に ⇒ 古バビロニア王国を征服

メソポタミアの文化

- ・楔形文字…粘土板に尖った金属などで刻むため、字形が楔形をした文字
- ・六十進法…シュメール人が開発した記数法
- ・太陰暦の使用…月の満ち欠けの周期を基準とする暦



エジプト年表

年代	できごと
前30世紀頃	ネメス王がエジプトを統一
前27世紀頃	古王国が成立(第3～6王朝)
前21世紀頃	中王国が成立(第11～12王朝)
前1567年	新王国が成立(第18～20王朝)
前14世紀頃	アメンホテプ4世が、アマルナ改革を実施

ファラオと呼ばれる王が統治

末期にアジア系民族のヒクソスが侵入

◎ピラミッドの国

ナイル川流域に発達…「エジプトはナイルのたまもの」(ギリシアの歴史家ヘロドトスの言葉)

○古王国(第3～6王朝) 都:メンフィス

ピラミッドの建造が盛んにおこなわれる

…王の権力の象徴

○中王国(第11～12王朝) 都:テーベ

シリアから遊牧民ヒクソスが侵入

○新王国(第18～20王朝) 都:テーベ

アメンホテプ4世(第18王朝の王)、都をテル=エル=アマルナに遷都

⇒王の死後、テーベへ復帰



この人の子どもがツタンカーメン



…写実的なアマルナ美術が栄える

エジプトの宗教

古王国…太陽神ラーを中心とする多神教(冥界神オシリス、王権をつかさどるホルス神など)

新王国…アモン・ラー信仰が盛んになる(テーベの守護神アモンと太陽神ラーの信仰が結びつく)

⇒アメンホテプ4世の時代に、唯一神アトンの信仰を強制

エジプトの文化

- ・「死者の書」…死者の来世の幸福を祈った絵文書、ミイラとともに埋葬する
- ・象形文字の考案…神聖文字(ヒエログリフ)や民衆文字(デモティック)など
= 碑文や石棺に刻まれる = パピルスという紙に書かれる
- ・太陽暦の使用…太陽の動きを基準とする暦
= のちにローマで採用され、ユリウス暦となる

